

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 12月 20日

事業所名 ほしぞら

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			利用者が多い時には、活動室を分けて活動している。	
	2	職員の配置数は適切である	9			スタッフ間で連携できる体制をとっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1			一部バリアフリーでない部分もあるが、玄関や階段など概ね配慮はある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			イベント実施後などにアンケートを取り、改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			HPにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			研修案内を都度発信し、希望する研修を受講できるようにしている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			モニタリングや家庭連携をもとに、定期的に職員間で情報共有を行い、計画書に反映している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			絵カードやホワイトボードを使って視覚的に理解できるように支援している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1		毎月活動予定表を担当者で話し合い作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			毎月活動予定表を利用者に配布している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			1日のタイムスケジュールを掲示し、規則正しく過ごせるように支援している。長期休み明けにスムーズに学校生活に移行できるように座る活動も長めに設けている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			毎日朝礼、昼礼などを行い共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			毎日、夕礼会を行い報告や活動の反省点などを話し、次につなげている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	1	困難事例など都度共有し、検証している。活動内容の振り返りし、反省点等を話し合い改善している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			3 創作活動・余暇の、提供・自立支援の活動等日々の活動内容に取り入れてある。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		1			

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					医療的ケア児がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	2		必要時、保護者に情報をもらっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		4		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		2		児童発達支援センターが開所して間もない為、未だできていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	2		コロナ禍のため交流する機会がないが、長期休みの時は活動で児童館を利用する時がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1	2		コロナ禍のため以前より開催が少ないが、子ども部会への参加はしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9				家庭連携への強化を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	7	1		ペアレント・トレーニングの研修が市内で行われていないので、今後研修を依頼していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9				家庭連携への強化を図っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9				保護者会(年1~2回)や、イベント時など保護者同士の交流を図っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9				苦情などがあった場合は、すぐに共有し迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9				毎月、通信を作成し保護者に配布している。
	35	個人情報に十分注意している	9				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	8			以前は地域の催し物に参加していたが、コロナ禍のため現在は行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9				避難訓練などは定期的に行っているが、事業所に不審者が入った時を想定した訓練はしていないので、今後取り組んで行く。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9				活動に避難経路確認や消防訓練などを取り入れている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2	1		計画書には記載していないが、契約書には記載されており契約時説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		3		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9				事例集は作成していないが、朝礼・昼礼・夕礼で共有し対策している。